

2017年10月期 決算説明会

(2017年12月8日)

株式会社エイチ・アイ・エス

証券コード：9603



2017年10月期 業績報告

- 連結業績サマリー P.3~5
- 連結業績説明 P.6~8
- 事業セグメント別 P.9~18

連結業績サマリー



- 下半期は回復基調、増収増益で着地
利益の2本柱である旅行事業・ハウステンボスグループにおいて、上半期における欧州テロや熊本地震等の外的要因影響から下半期は回復基調で推移。その結果、売上高は15.7%増の6,060億円と過去最高を記録し、営業利益は上半期の営業減益から大きく改善し、11.5%増の159億円となり増収増益で着地。
- 第3の柱となるホテル事業への投資、M&Aを加速
「変なホテル」（舞浜、ラグーナテンボス）のオープンに加え、台湾のホテル（16軒）が傘下に。また、メリットトラベルおよびミキグループを子会社化するなど旅行事業のM&Aも積極展開。

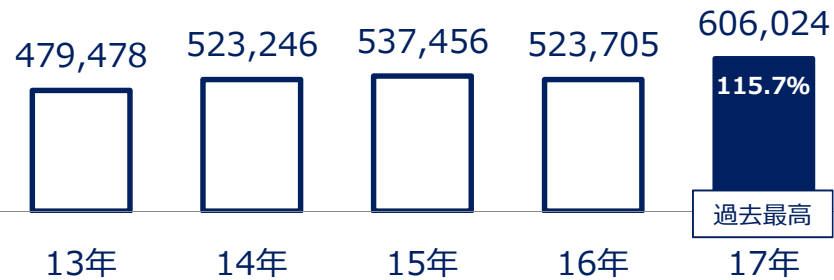
		16年10月期	17年10月期	増減	前期比
(百万円)					
売上高		523,705	606,024	82,318	115.7%
売上総利益		105,044	114,738	9,693	109.2%
販管費		90,769	98,822	8,052	108.9%
営業利益		14,274	15,915	1,640	111.5%
経常利益		8,648	19,647	10,999	227.2%
当期純利益		267	13,259	12,992	4964.5%
拠点数	国内	295	286	▲9	96.9%
	海外	230	271	41	117.8%
従業員数 (人)		14,380	16,932	2,552	117.7%

連結業績推移



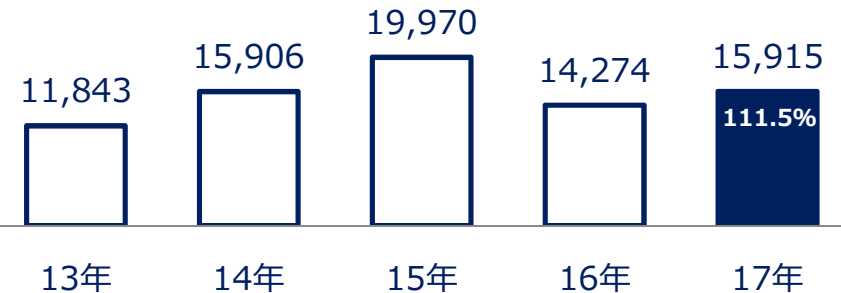
売上高

(百万円)



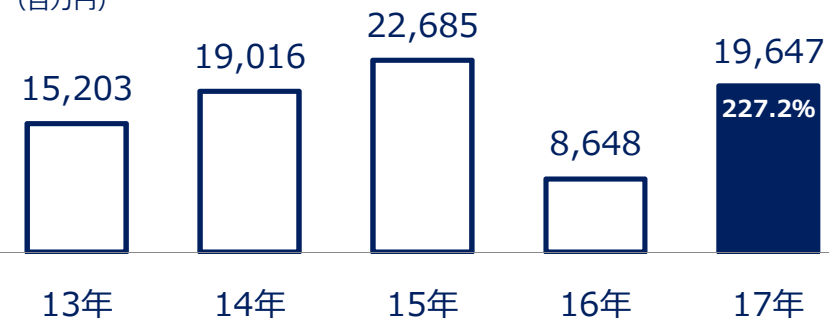
営業利益

(百万円)



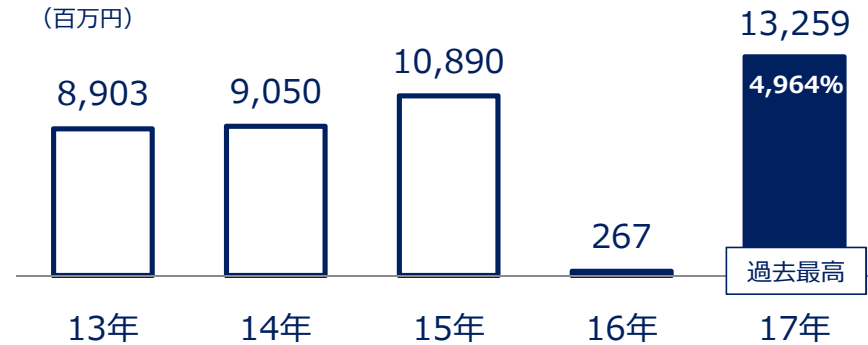
経常利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)



連結業績セグメント概要



(百万円)

事業セグメント別業績

		旅行事業			ハウステンボスグループ			ホテル事業		
		2016年	2017年	前期比	2016年	2017年	前期比	2016年	2017年	前期比
売上高	a	465,772	536,826	115.3%	31,863	36,780	115.4%	6,609	8,177	123.7%
営業利益	b	9,038	9,900	109.5%	7,485	7,688	102.7%	556	764	137.5%
b/a 率		1.9%	1.8%	▲0.1pt	23.5%	20.9%	▲2.6pt	8.4%	9.3%	0.9pt
EBITDA	c	11,387	12,768	112.1%	9,316	9,558	102.6%	1,395	1,713	122.8%
c/a 率		2.4%	2.4%	±0pt	29.2%	26.0%	▲3.2pt	21.1%	20.9%	▲0.2pt
		運輸事業※			九州産交グループ			その他調整等		
		2016年	2017年	前期比	2016年	2017年	前期比	2016年	2017年	前期比
売上高	a	3,325	3,272	98.4%	20,248	22,282	110.0%	▲4,113	▲1,315	-
営業利益	b	▲834	▲840	-	89	564	631.9%	▲2,060	▲2,161	-
b/a 率		-	-	-	0.4%	2.5%	2.1pt	-	-	-
EBITDA	c	▲805	▲822	-	1,231	1,622	131.7%	▲1,545	▲1,543	-
c/a 率		-	-	-	6.1%	7.3%	1.2pt	-	-	-

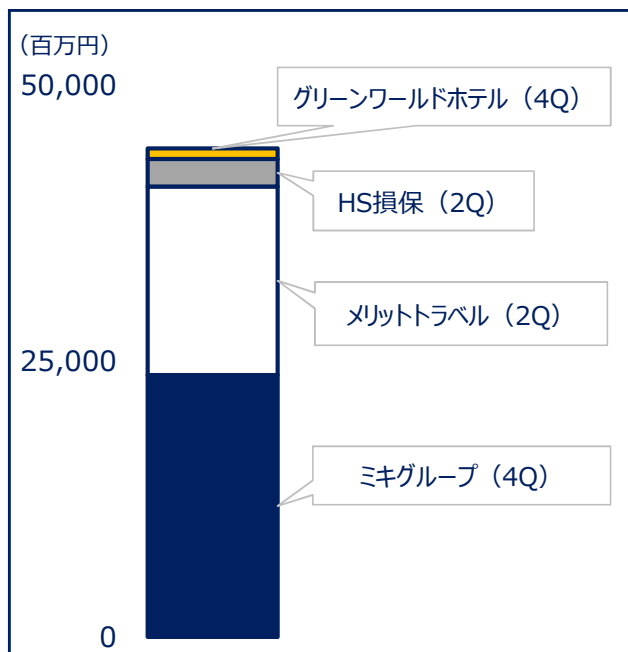
※ 第4四半期会計期間以降の業績は持分法による投資損益に反映

連結業績説明①

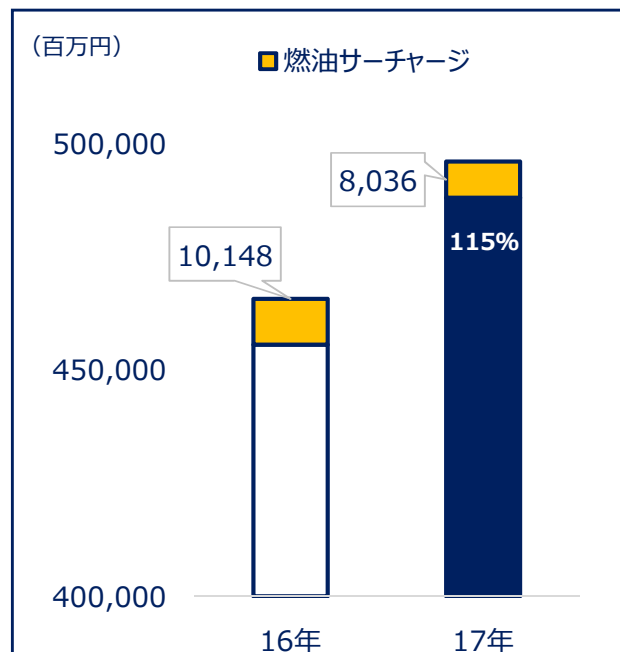


売上高

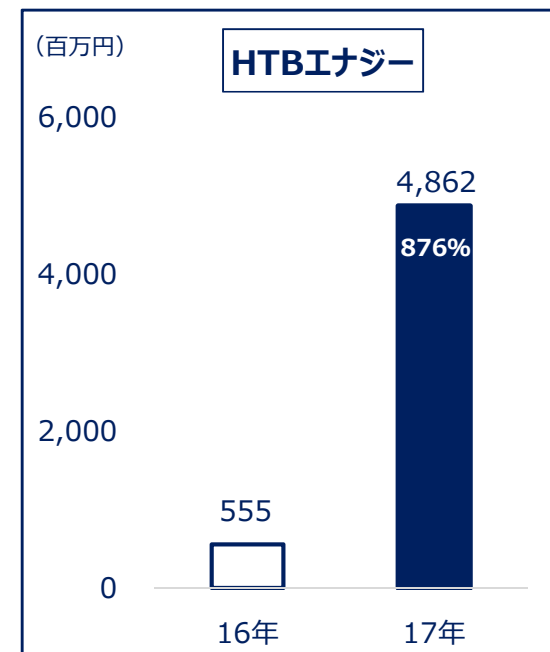
■ M&Aによる増収（期中連結）



■ 既存旅行事業の回復



■ 新規事業の成長



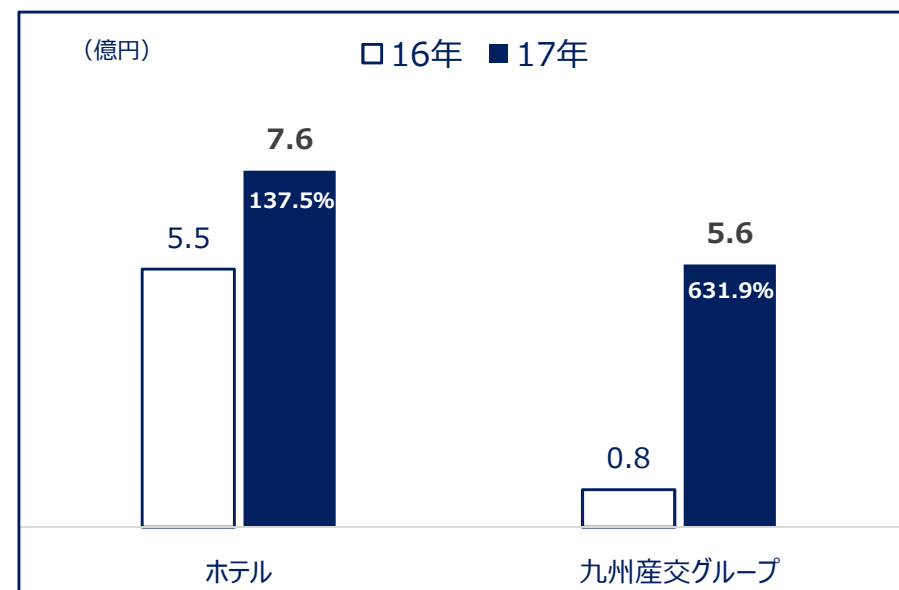
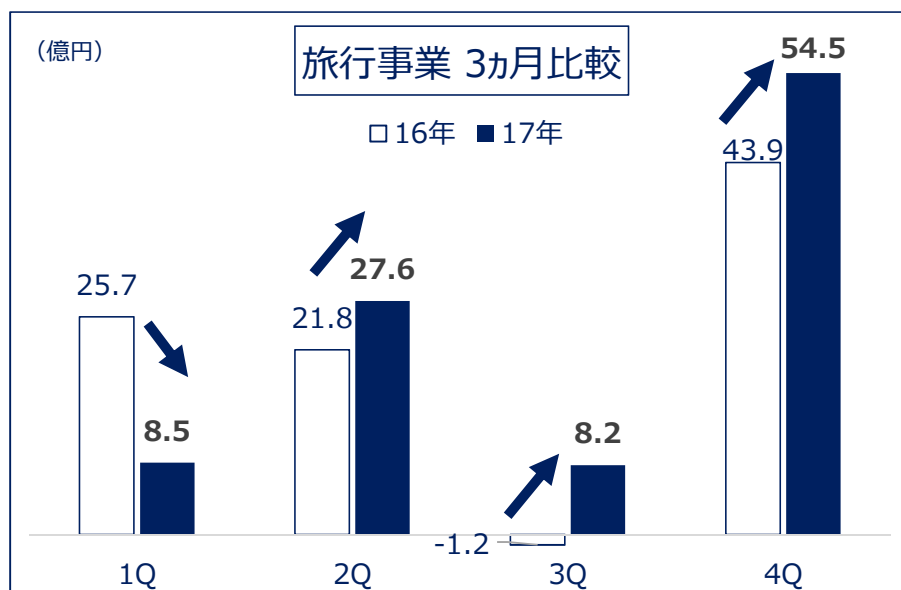
連結業績説明②



営業利益

■ 旅行事業において第1四半期に一時的な利益率低下があったものの、第2四半期以降の回復により旅行事業が増益を牽引

■ ホテル事業の確実な成長に加え、震災影響から脱した九州産交グループ収益性の改善

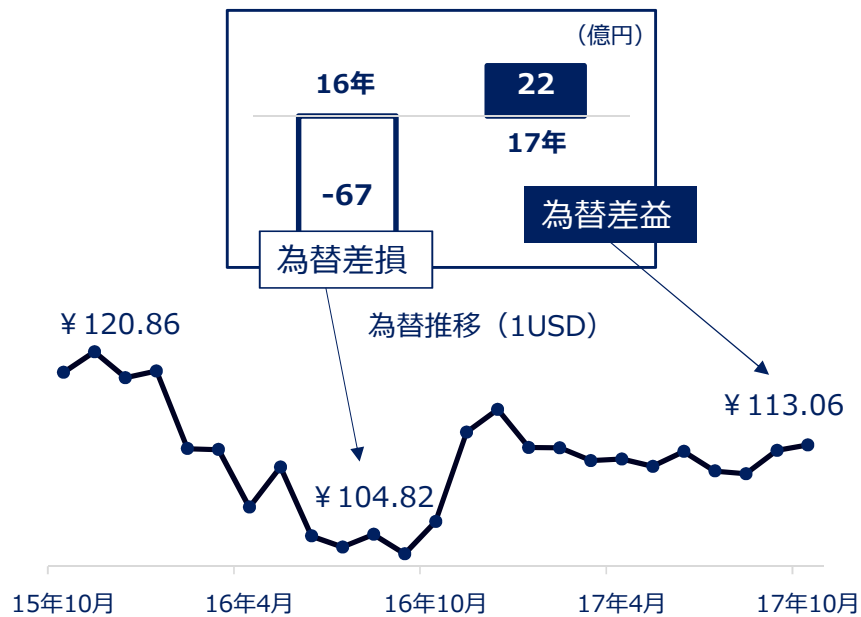


連結業績説明③



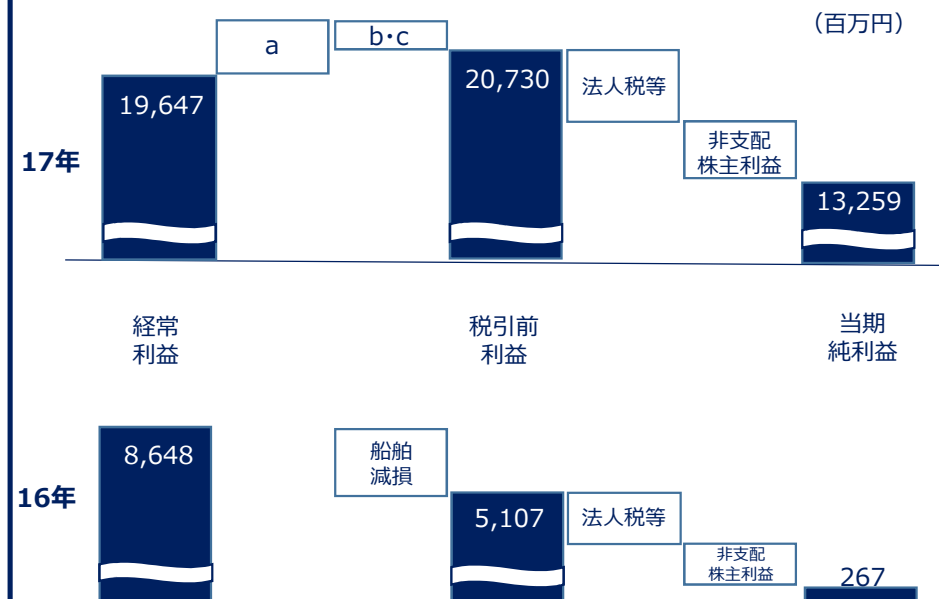
経常利益

- 円安による為替差益
- 金融収益の増加

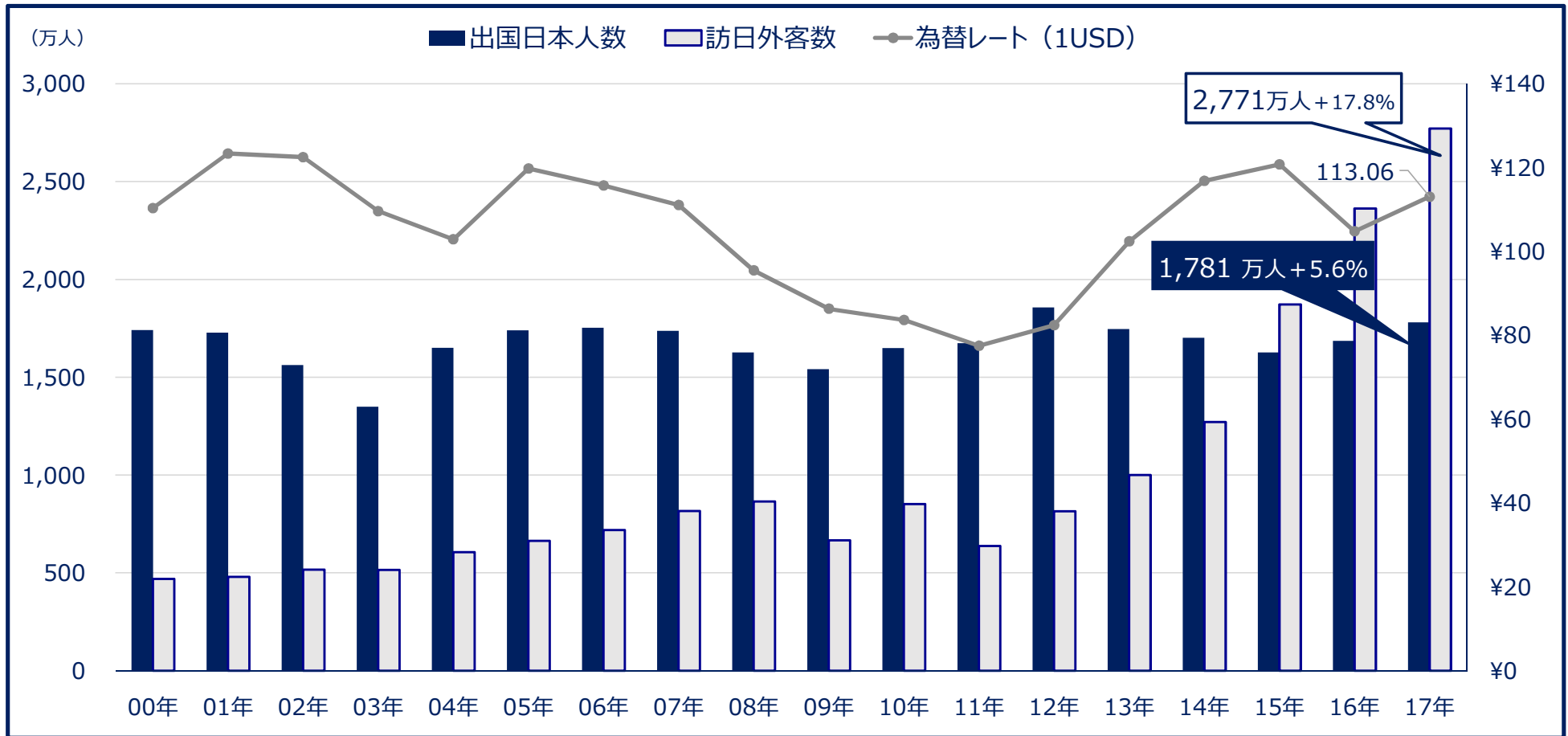


当期純利益

- 段階取得に係る差益 a
- 船舶「オーシャングランド号」の売却損 b
- M&Aに伴うソフトウェア減損損失 c



旅行事業概況



期間：11月～10月 出典：JNTO

旅行事業

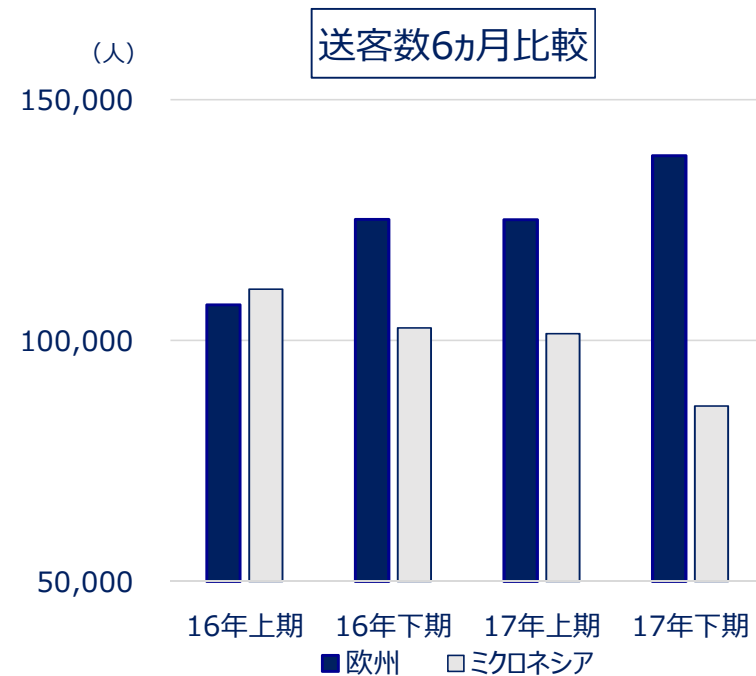


- 主軸事業の海外旅行の収益性改善
欧州需要の回復に反し、下半期以降はアジア情勢によるミクロネシア減少も、全体的に回復基調で推移
(参照グラフ：スライド7左)
- 海外旅行取扱額シェア拡大
オンライン予約、団体旅行の強化が奏功
(参照グラフ：スライド11)
- 世界展開に向け積極的なM&Aを実施
メリットトラベル、ミキグループをグループ化

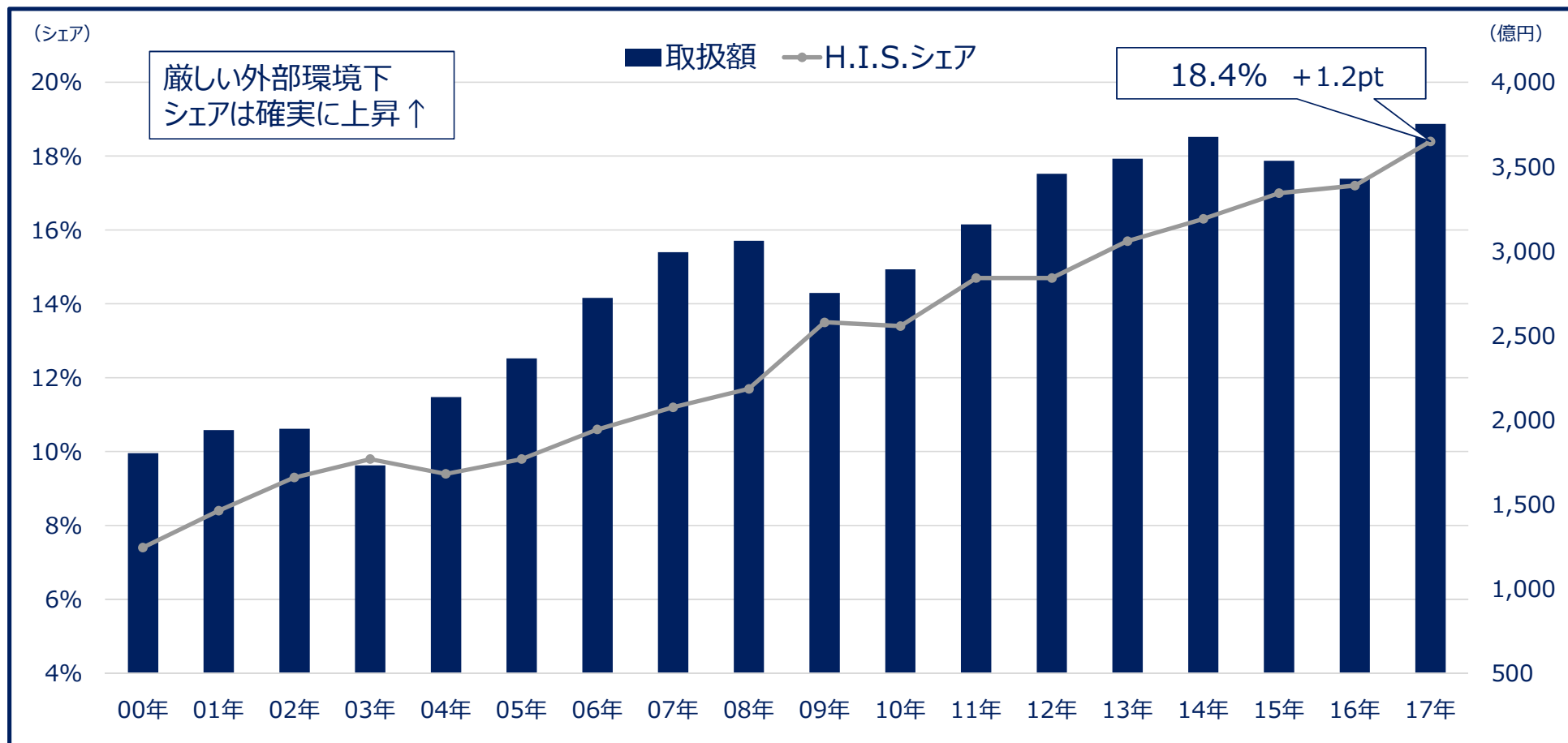
merit travel
...for the experience



GROUP MIKI



主要旅行業者における海外旅行取扱額シェア推移



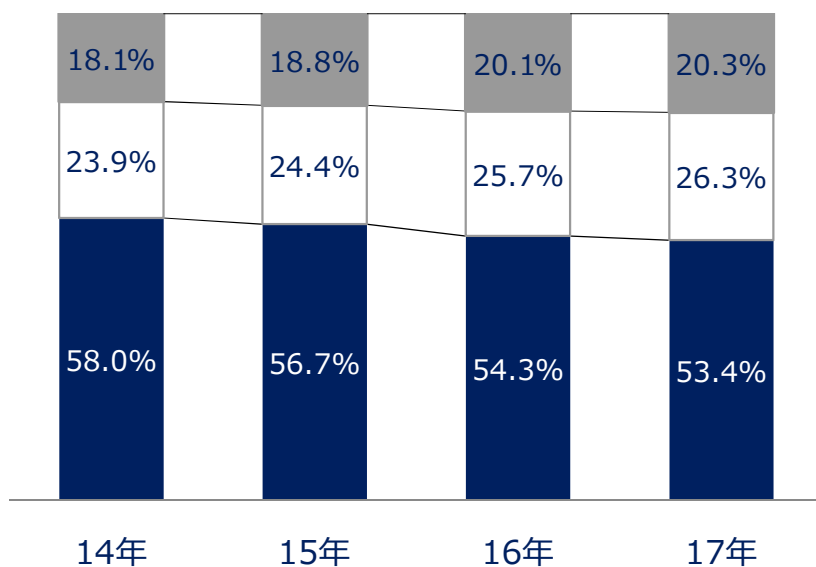
期間：11月～10月 出典：観光庁 17年は当社推計値

＜参考＞ 海外旅行売上高構成比



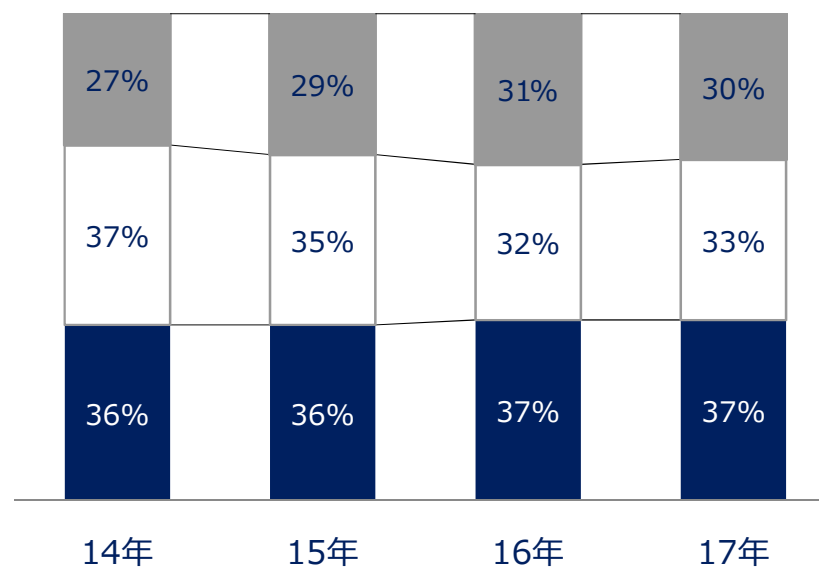
販売チャネル

■ 店舗 □ インターネット ■ コーポレート



方面別

■ アジア □ 欧・米・豪 ■ ハワイ・ミクロネシア



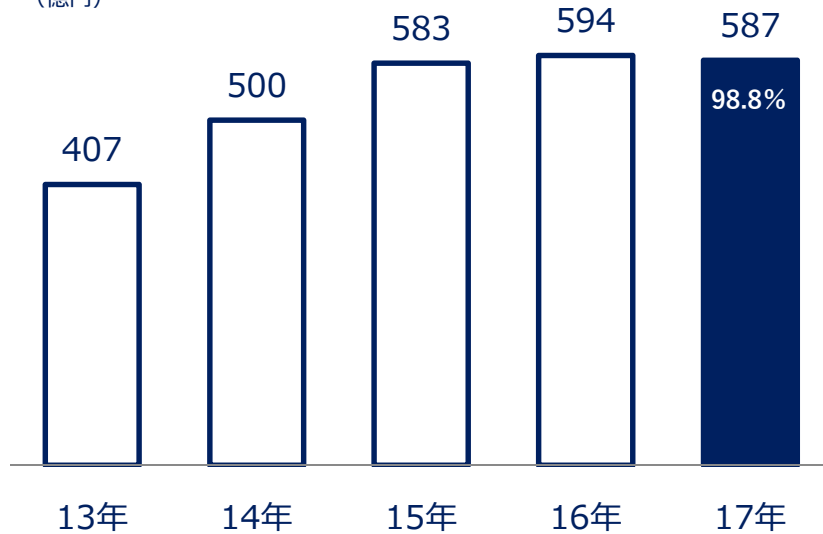
旅行事業



国内旅行

- 商品構成を再構築
- オンライン販売、バスツアーの強化

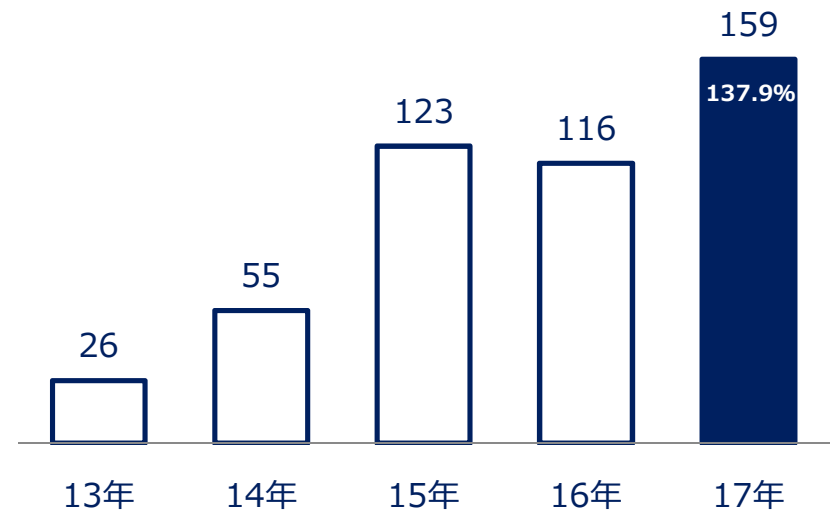
(億円)



訪日旅行

- 加速するFIT化への対応強化
- BtoB事業の拡大

(億円)



旅行事業

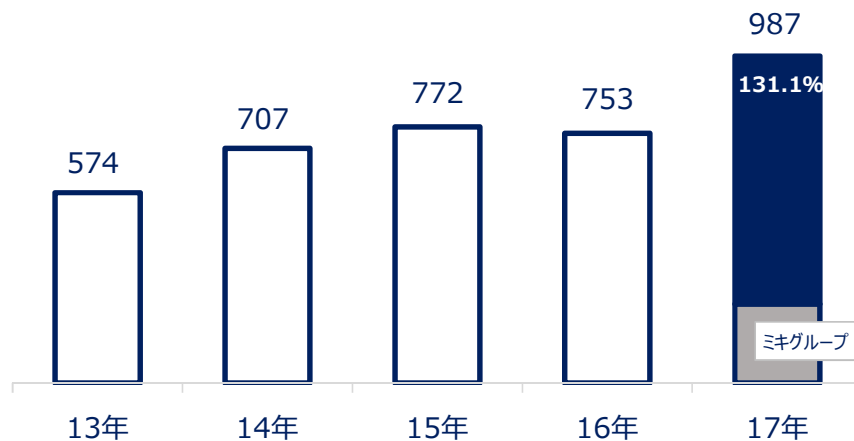


海外現地法人 インバウンド

- ミキグループを子会社化
- トロリーバス路線の拡張やスパ運営などサプライヤー事業の展開

(億円)

売上高

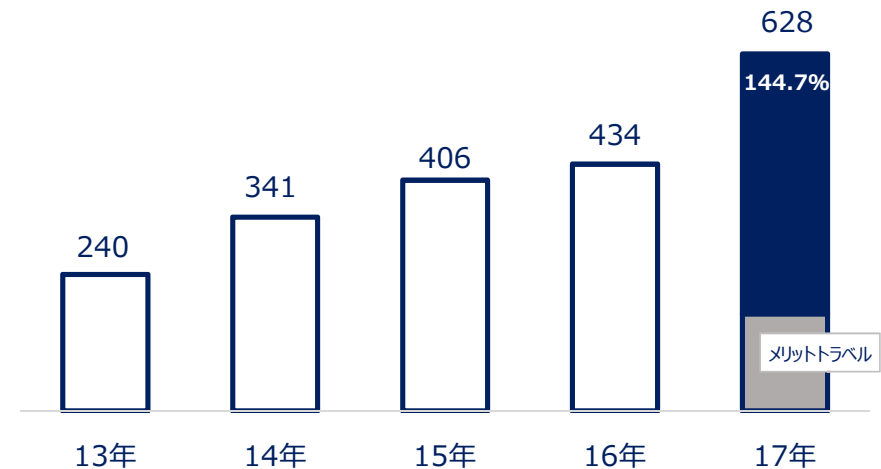


海外現地法人 アウトバウンド

- 注力エリアのインドネシアが順調に拡大
- M&Aによる北米強化 (メリットトラベル)

(億円)

売上高



※ 内部取引相殺前及び連結調整前、便宜上ミキグループをインバウンドに含む

ハウステンボスグループ



- グループ全体は、HTBEナジーの成長に加え、ラグーナテンボス内に「変なホテル」を開業するなど業容を拡大し順調に推移
- ハウステンボスは、上半期までの震災影響から回復し、下半期の入場者数、取扱高はともに前年実績を上回る

ハウステンボスグループ連結

(百万円)	16年9月期	17年9月期	増減	前期比
売上高	31,863	36,780	4,917	115.4%
売上総利益	25,428	26,353	925	103.6%
販管費	17,942	18,664	721	104.0%
営業利益	7,485	7,688	203	102.7%
経常利益	5,935	9,577	3,642	161.4%

ハウステンボス単独

入場者数	288.1万人 (前期比 99.5%)
内、海外客数	19.1万人 (同 93.2%)
宿泊者数	31.2万人 (同 101.5%)
取扱高	29,150百万円 (同 101.9%)
単価	10,118円 (同 102.4%)
売上総利益	22,737百万円 (同 102.3%)
販管費	15,149百万円 (同 103.4%)
営業利益	7,587百万円 (同 100.1%)

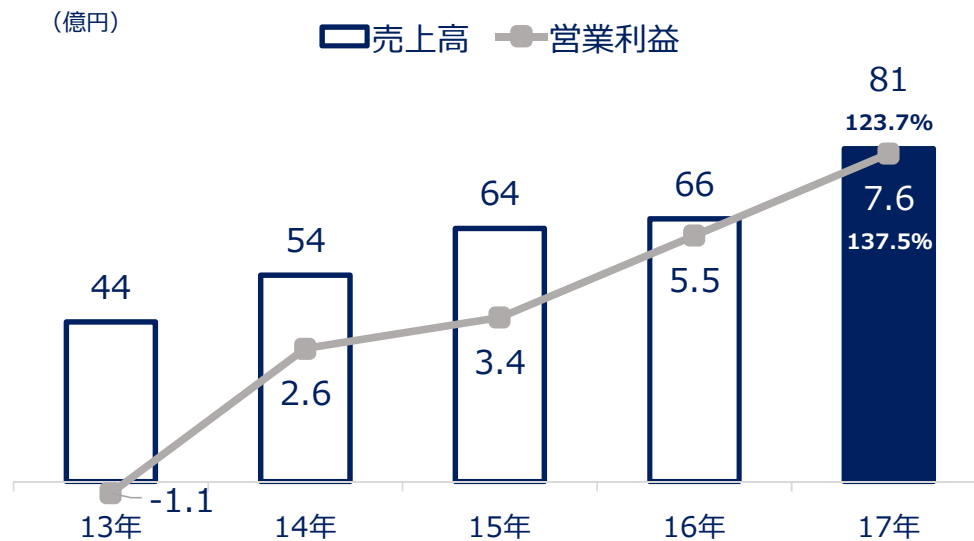
ハウステンボスグループ



ホテル事業



- 過去最高となる売上高81億円、営業利益7.6億円と大きく躍進
- 首都圏初「変なホテル」を舞浜にオープンし、初年度から収益貢献
- グリーンワールドホテルグループ（台湾）を傘下に（4Q）



その他事業



九州産交グループ

- 熊本地震から1年が経過し、全体的に回復基調
- 減少していた高速バス事業も好調に推移
- 桜町再開発事業は順調に進捗



再開発進捗9月時点

運輸事業

- 年末年始や中国春節時のチャーター便を実施
- 連結子会社から持分法適用関連会社へ
(第4四半期以降)



アジアアトランティックエアラインズ

2018年10月期 業績予想・今後の展開

- 業績予想ハイライト P.20~21
- サブセグメント別 今後の展開 P.22~34
- 財務状況と展望 P.35~37

業績予想ハイライト



旅行事業

既存の2本柱

ハウステンボスグループ

- ・オンライン事業の強化
- ・法人団体旅行事業の拡大
- ・ディスティネーション強化（ハワイ、欧州）
- ・訪日事業の拡大
- ・海外における旅行事業（ノンジャパニーズ）強化
- ・M&Aによる業容拡大

- ・オンリーワン、ナンバーワンイベントの実施
- ・外国人観光客取込み
- ・無人島開発
- ・場外イベント展開
- ・将来的なカジノ事業の可能性
- ・観光ビジネス都市の実現へ

より強固な事業ポートフォリオの構築へ

第3の柱

ホテル事業

- ・中期的な100軒構想の実現
- ・「変なホテル」の横展開加速

第4・第5の柱へ…

新規事業

- ・電力事業本格参入
- ・ロボット事業
- ・新しいテクノロジーの活用

2018年10月期 業績予想



- 地政学的リスクなど外的要因影響は依然残るものの、レジャー需要は堅調に推移すると想定
- 前期に新規連結（期中）となったM&Aによるグループ会社が年間寄与となり、売上高は大幅に増加の見込み
- 営業外に為替差益は織り込まず計画

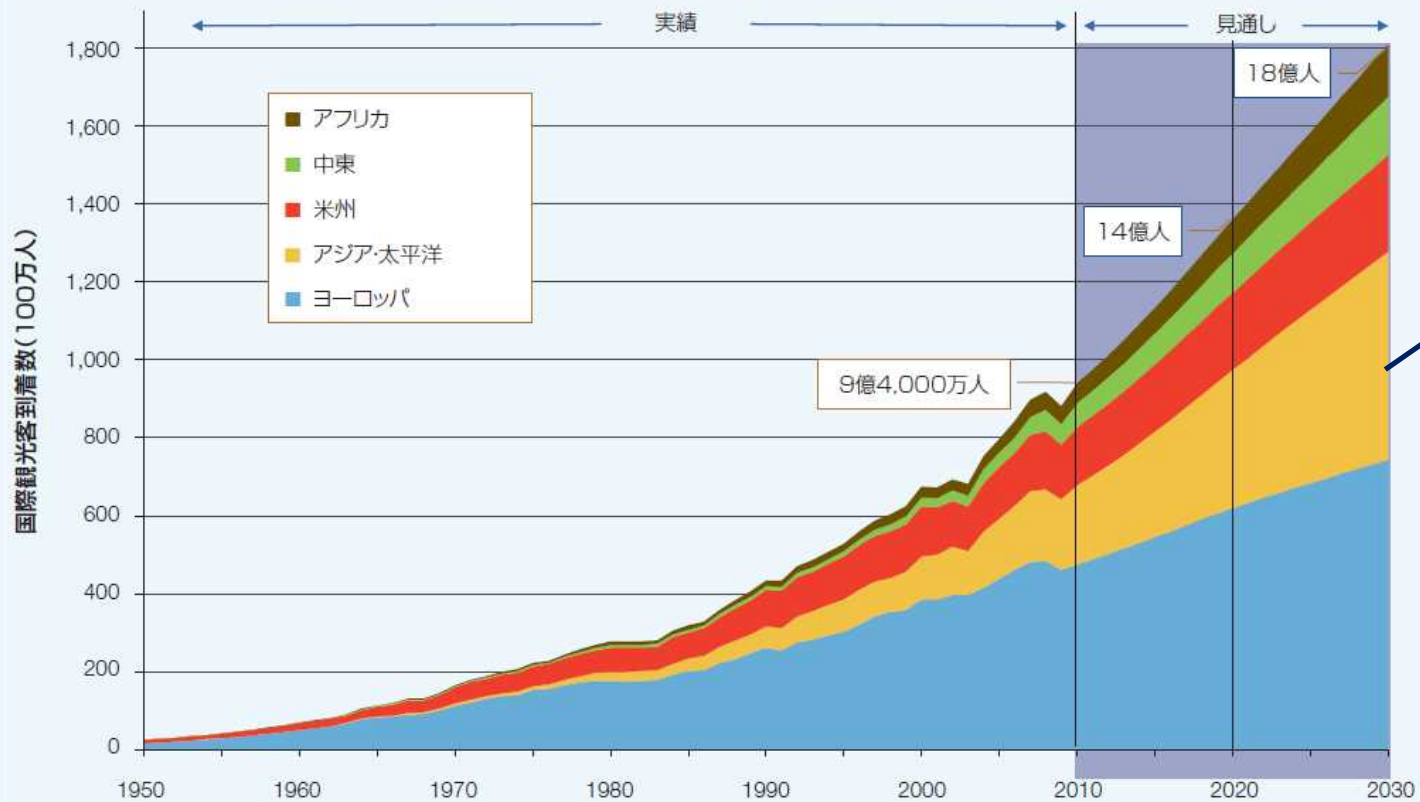
（百万円）

	17年10月期	18年10月期	増減	前期比
売上高	606,024	735,000	128,976	121%
営業利益	15,915	18,000	2,085	113%
経常利益	19,647	20,000	353	102%
当期純利益	13,259	10,000	▲3,259	75%
配当（円）	29	29	0	

旅行事業



UNWTO2030長期予測：1950-2030年の実績と見通し



グローバル市場は
今後も拡大する見通し

出典：国連世界観光機関 (UNWTO) ©

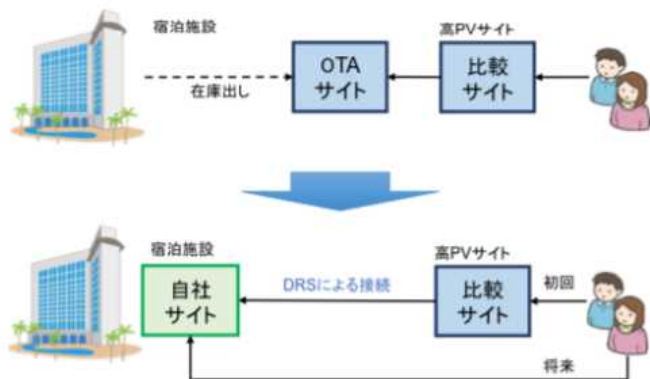
日本における旅行事業



オンライン強化

- ・国内航空券、バスツアーサイトリニューアル
- ・UI/UXの更なる向上
- ・スマートフォン対応の強化
- ・ホテル予約サイトを閉鎖し、ホテル直販型ビジネスモデルへの転換

【 宿泊施設向け直販予約システム 】



法人・団体

- ・人材リソースの投入
- ・国内団体強化
- ・ハワイマーケットの強化



団体旅行イメージ

ハワイ 欧州 No.1

ハワイ

- ・現地インフラの増強とマーケット拡大
- ・オリジナリティの強化

ヨーロッパ

- ・MIKIとのシナジー
- ・添乗員付きツアー商品の強化

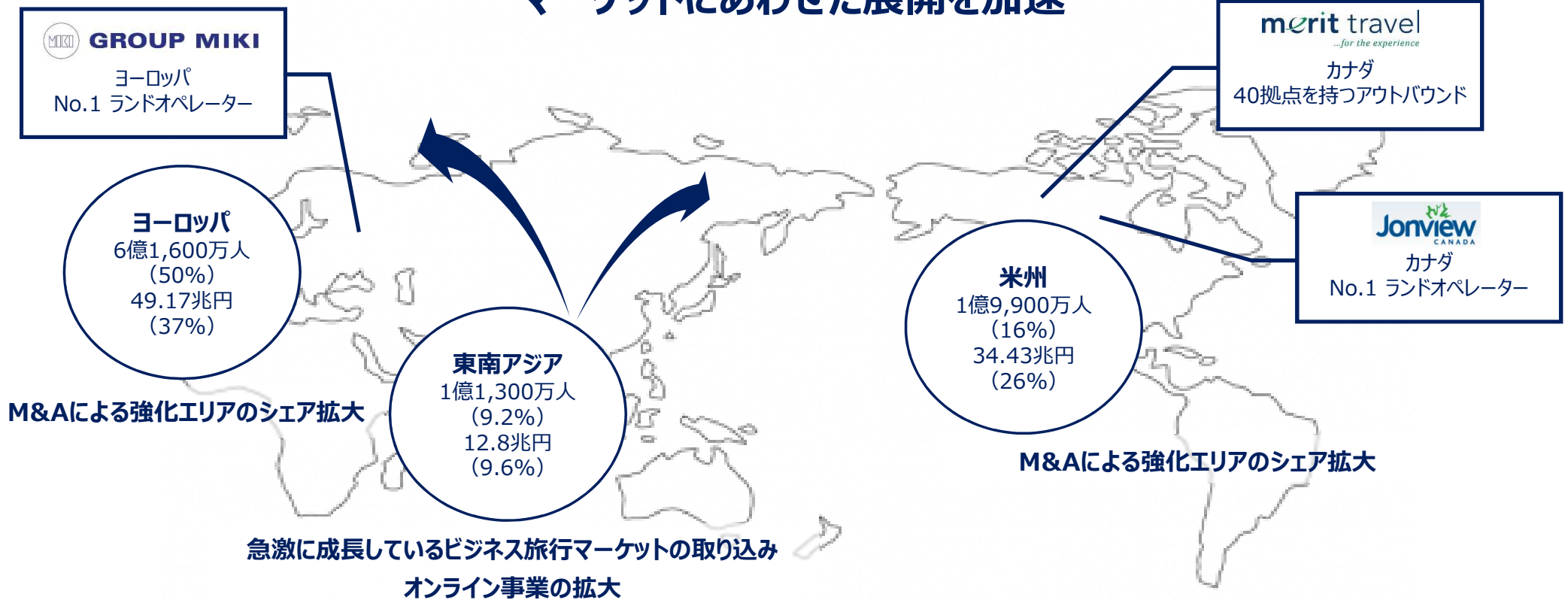


ハワイ Lealeaトローリー

海外における旅行事業



マーケットにあわせた展開を加速



出典：UNWTO \$1=110円換算
国際観光客到着数（構成比）、国際観光収入（構成比）

海外拠点数：70カ国156都市271拠点（10月末現在）

ハウステンボス



■ ハウステンボス 単独業績見込み

3つの強化項目を実施し、入場者数を300万人台へ回復させ増収増益を計画

- イベント強化 → オンリーワン、ナンバーワンイベントの拡充
- マーケティング強化 → 顧客の獲得（海外、九州域外）
- 営業力強化 → 団体営業、旅行会社からの予約



(百万円)

	17年9月期	18年9月期	増減	前期比
入場者数	288万人	302万人	14万人	105%
売上高（取扱高）	29,150	30,100	950	103%
営業利益	7,587	7,900	313	105%

ハウステンボス



ハウステンボス



Only1の無人島計画



ハウステンボスから南西に約6km



島までは水上ホテルで

ホテル



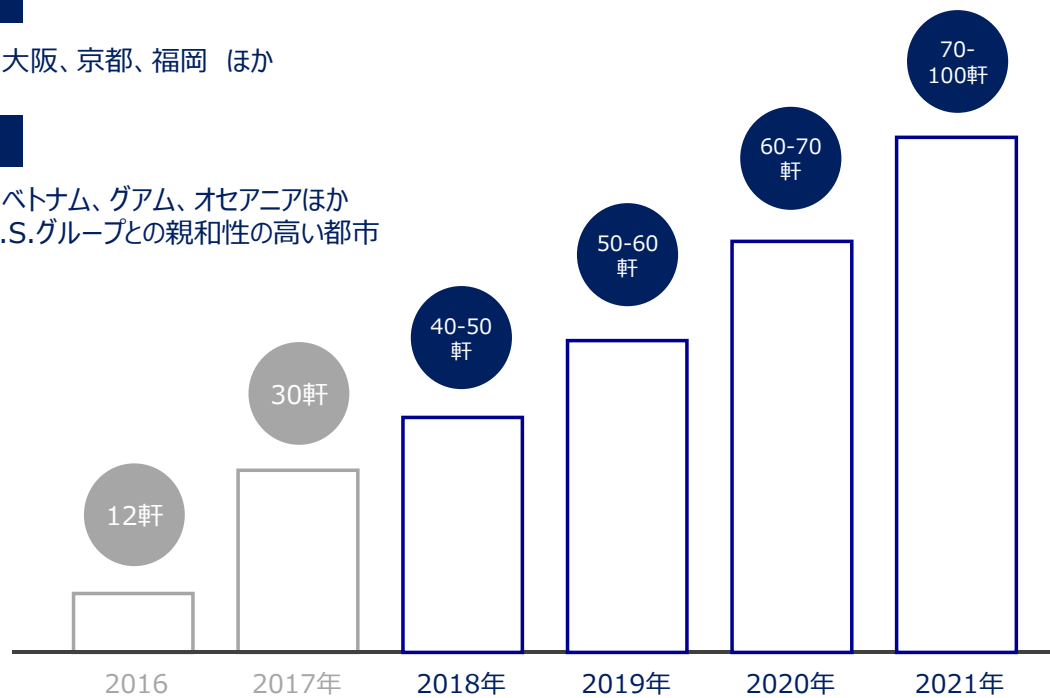
展開戦略

国内

東京、大阪、京都、福岡 ほか

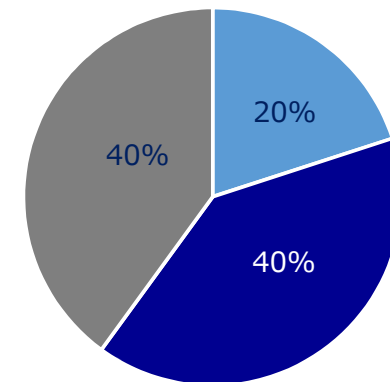
海外

上海、ベトナム、グアム、オセアニアほか
H.I.S.グループとの親和性の高い都市



ホテル展開（想定）

■ 自社開発・保有 ■ M&A ■ 運営受託・リース



ホテル



差別化戦略

[H.I.S.ホテルホールディングスの4コアバリュー]



生産性

無人化への挑戦
水道光熱費の削減
自動精算機の開発



エンタメ性

新型ロボットの導入
理想のAV環境



快適性

業界初マットレスの導入
ソファベット開発



事業展開性

アクティビティ販売



この4バリューを磨き他の追随を許さぬOnly1の価値へ

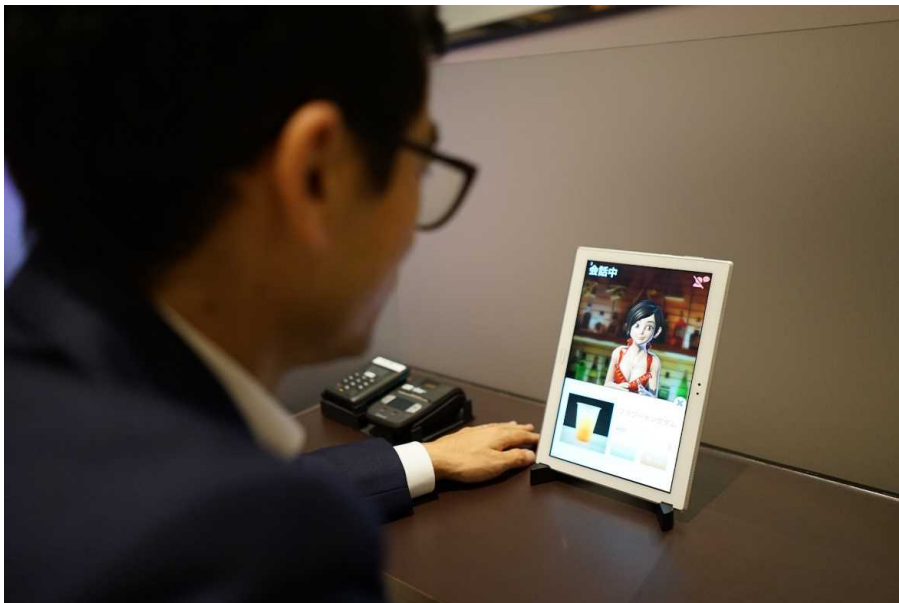
ホテル



「変なホテル ハウステンボス」で実用化

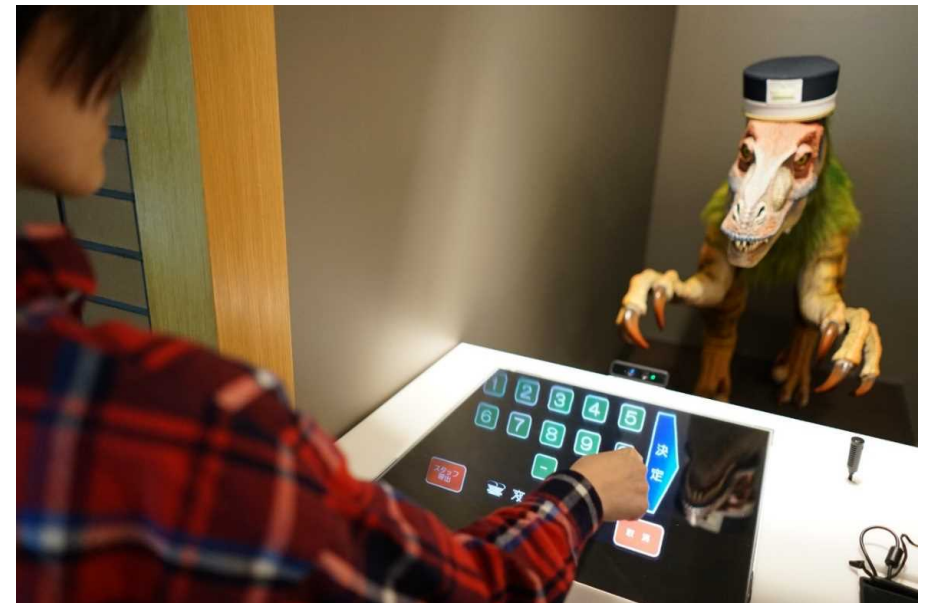
「変なバー」11/9 Open

世界初 ロボットで案内・受注・提供の一連のサービス無人化を実現



空中ディスプレイ 11/1 実用開始

世界初 宙に浮かぶ画面でチェックイン



ホテル



変なホテル東京 西葛西

- ▶ 開業日：2017年12月15日
- ▶ アクセス：東京メトロ東西線 西葛西駅 徒歩3分
- ▶ スペック：全100室・13㎡～19㎡
- ▶ コンセプト：「和テイスト」
- ▶ TDLまで車で10分



変なホテル銀座

- ▶ 開業日：2018年2月1日（予定）
- ▶ アクセス：東京メトロ有楽町線 新富町駅 徒歩3分
- ▶ スペック：全98室・13㎡～19㎡
- ▶ コンセプト：「五大洲のお客様が集う場所」
- ▶ 銀座まで徒歩8分、築地市場まで徒歩5分



変なホテル浜松町

- ▶ 開業日：2018年4月27日（予定）
- ▶ アクセス：JR山手線 浜松町駅 徒歩2分
- ▶ スペック：全118室・12㎡～19㎡
- ▶ コンセプト：「最上の眠りと健康」
- ▶ 東京タワー徒歩10分、羽田空港 直通20分



ホテル



変なホテル浅草橋



変なホテル赤坂



変なホテル羽田



以降の予定

変なホテル心齋橋、変なホテル京都、変なホテル博多
上海、ベトナム、グアム、オセアニア など

九州産交グループ 再開発事業



■ 熊本県桜町再開発事業 概要

延床面積：160,330㎡（東京ドーム約3.5個分）

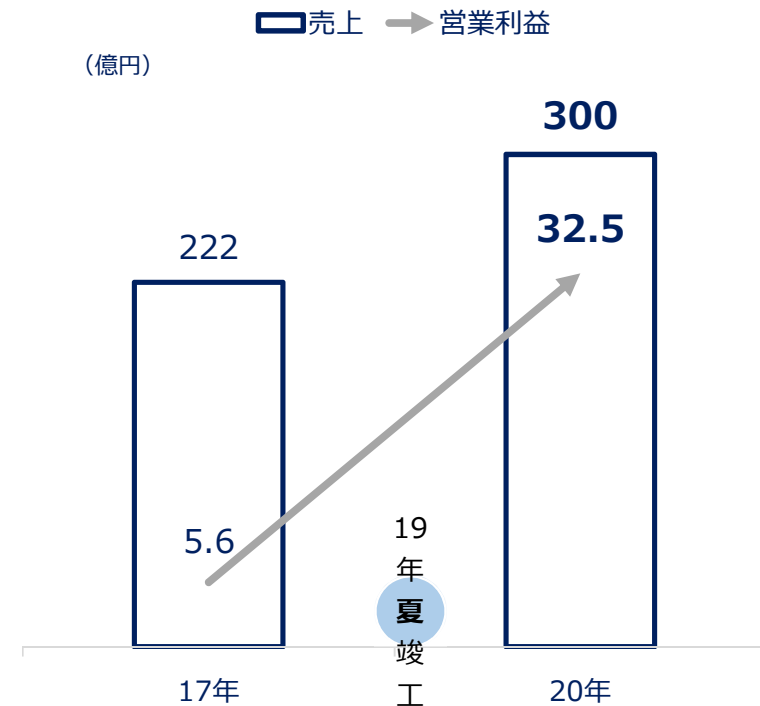
商業施設：150店舗 B1階～4階
バスターミナル：26乗り場
駐車場：840台

所有

シネコン：東宝9スクリーン
ホテル：205室
バンケット
コンベンションセンター：2,300席
マンション：150戸 ※完売
オフィス：3フロア



再開発後の収益イメージ



発電事業・電力小売事業



■ H.I.S. SUPER電力

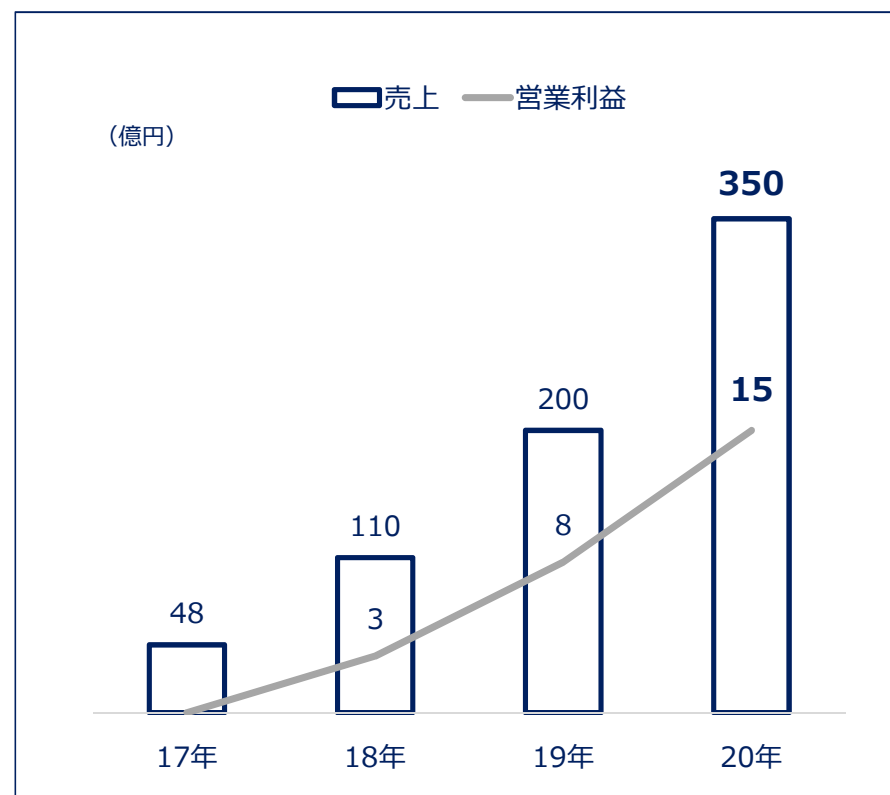
バイオマス発電所建設 「H.I.S.角田エネルギーパーク」

敷地面積：20,160m²
設備出力：41,100kw
売電開始：平成31年7月（予定）

業績目標	20年9月期
売上	80億円
営業利益	10億円



■ HTBエナジー 今後の収益イメージ

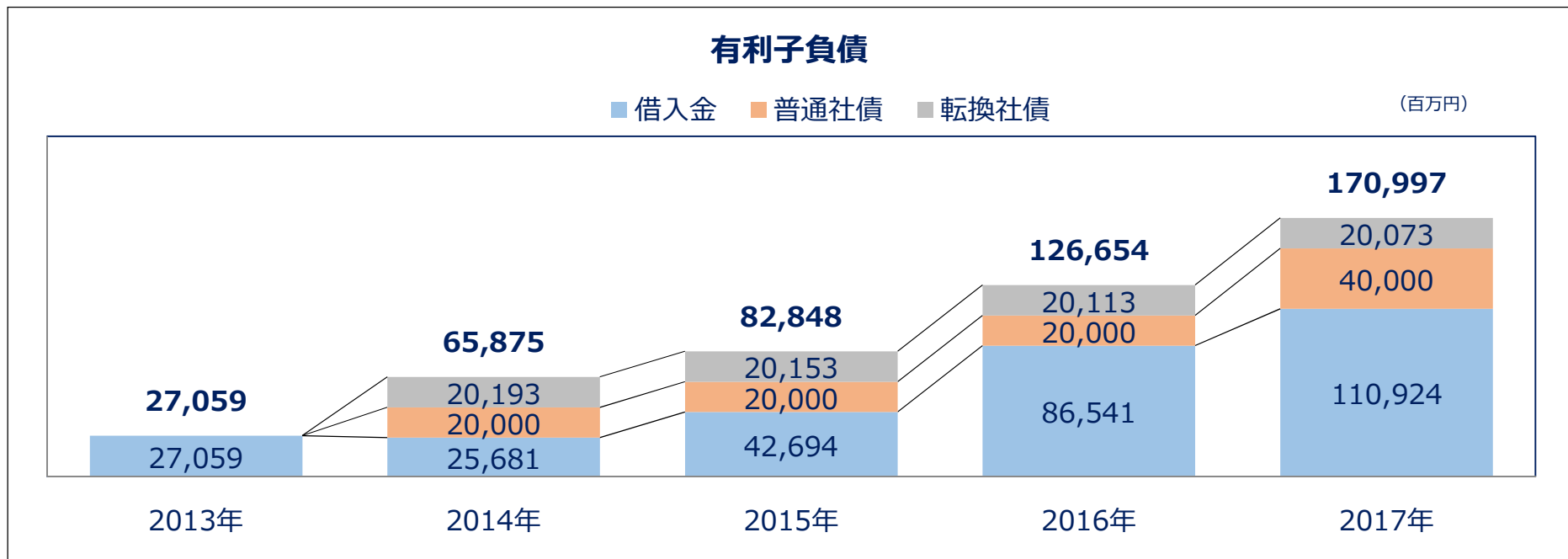


財務状況と将来の展望



■ 資金調達

- ・2017年10月末の有利子負債残高は1,709億円
- ・2017年11月に転換社債（ユーロ円CB）250億円を発行
- ・資金使途は、設備投資、借入金の返済、自社株買い等

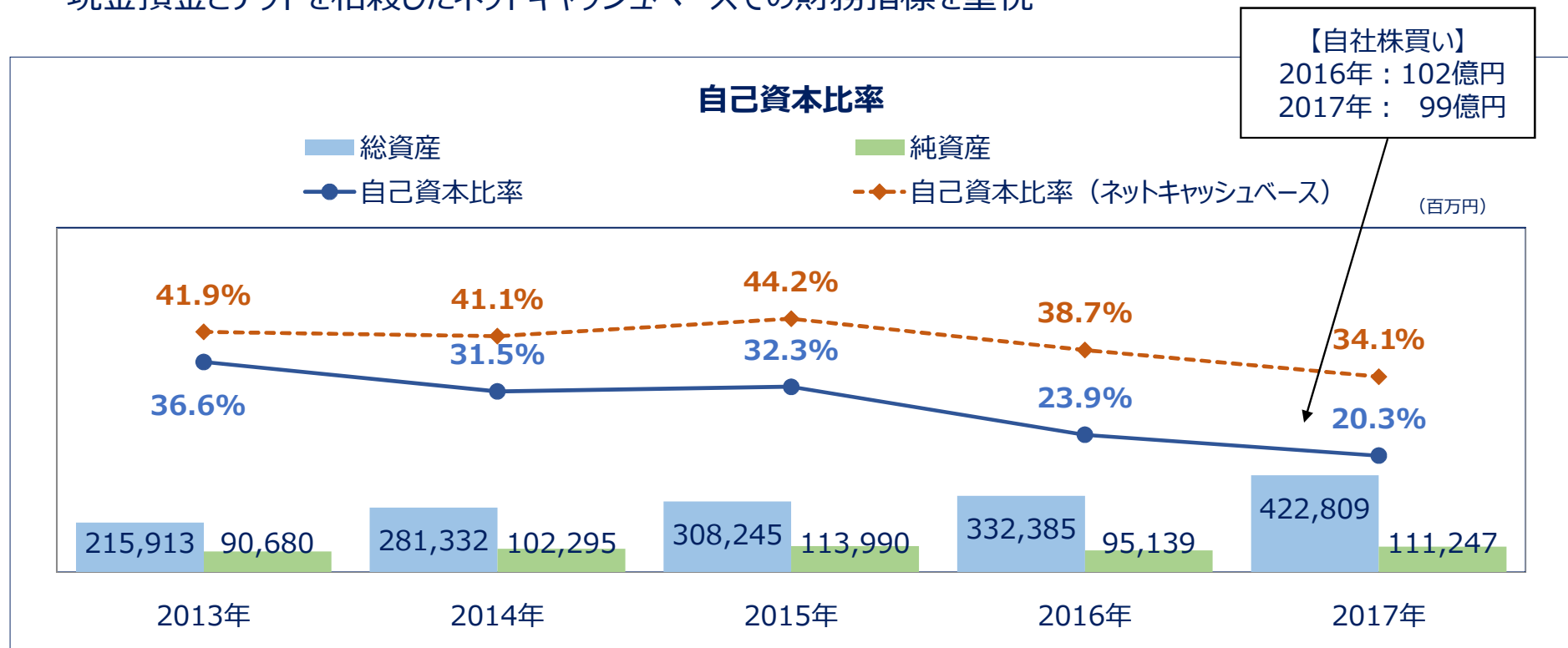


財務状況と将来の展望



■ キャッシュポジション

- ・現金預金 (1,930億円) > 有利子負債 (1,709億円)
- ・現金預金とデットを相殺したネットキャッシュベースでの財務指標を重視

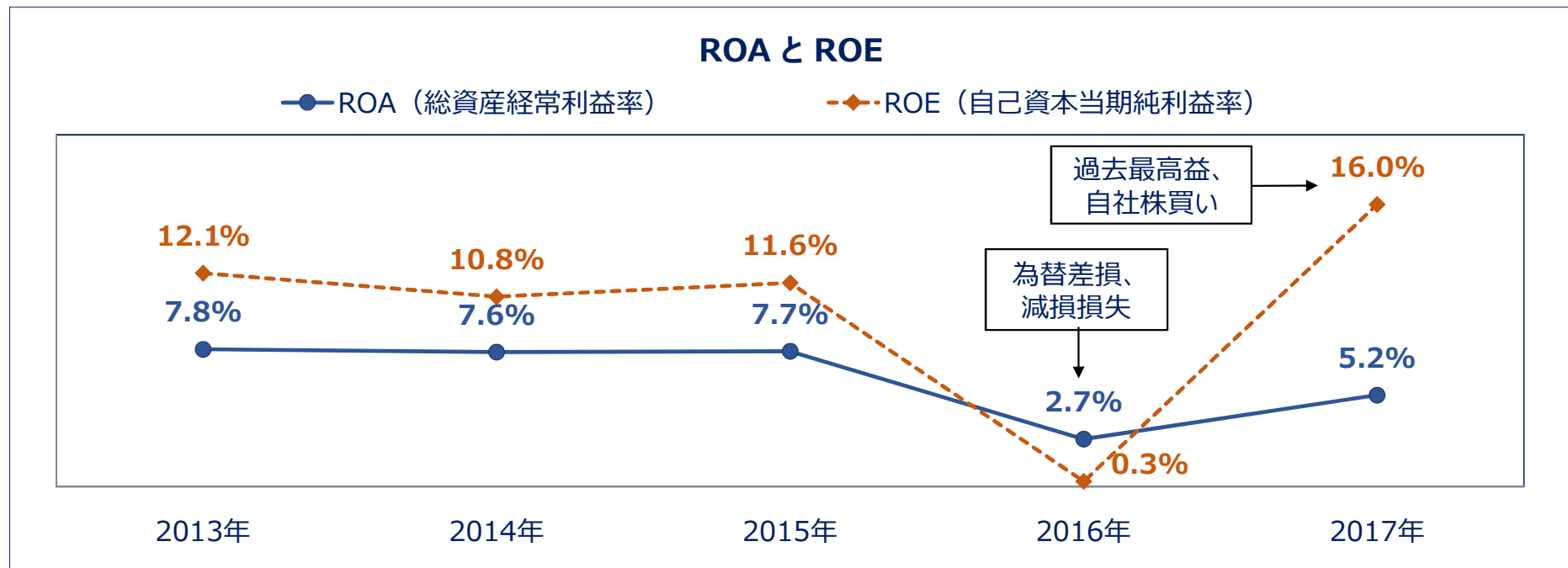


財務状況と将来の展望



■ 資金需要

- ・設備投資とM&Aで年間500億円程度を見込む
→ 2018～2020年の3カ年で1,500億円程度
- ・ROEは2ケタを維持し、ROIは5～10%を基準とする



初夢フェア 2018

第1弾 2017.12.1(金)~12.22(金)

弊社IRに関するお問い合わせは下記までご連絡ください

mail : his-ir@his-world.com